

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1 嬉野市議会議員 芦塚 典子

開催月日	令和2年10月14日(水)		
開催時間	10:00~12:30		
開催場所	博多区博多駅東1丁目16-14		
主催者	地方議員研究会		
研修会等の名称	地方創生SDGs特別講座 SDGsの基礎講座		
講師等の氏名等	神戸情報大学院大学教授・大阪市特別顧問 山中俊之		
内容・結果等	<ul style="list-style-type: none"> ▪ SDGsとは、Sustainable Development Goals 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」 浴槽15杯分とは (ハンバーガー1個を作るための水、牛用の穀物を作るための水) 600万トンと300万トンは(日本国内で廃棄される食糧廃棄物、全世界に必要な食料) 100種減少とは (一日で絶滅する動植物、一年間で3万種/150万種内) 6500万年前に自然が変動して起こった変化が、今は人類が滅亡させている。 ○ 2015年9月に国連の持続可能な開発サミットで国連全加盟国によって採択SDGs ○ SDGs、未来都市・モデル事業の取り組み 自治体SDGsモデル事業(20都市) 上限4千万円の支援がある。 ○ 持続可能な開発目標(SDGs)実施指針の概要 <ul style="list-style-type: none"> ▪ ビジョン:「誰一人取り残さない」「1.25ドル以下で生活している人を作らない。」 ①あらゆる人々の活躍の推進 ②健康・長寿の達成 ③成長市場の創出、地域活性化 科学技術イノベーション ④強靱な国土とインフラ整備 ⑤循環型社会 ⑥環境の保全 ⑦平和と安全・安心社会の実現 ⑧SDGs実施推進の体制と手段 ※ 企業が中心的役割 SDGs対応が遅れると企業として淘汰される時代 ○ すでに3,000兆円の投資がされている、投資を待っている数千兆円 ☆ 真に地域に貢献する企業と協力されているか。国連が定めたPRIに署名している。 投資家と連携して地元の企業に貢献している。青年会議所が重点的に取り組んでいる。 日本は23%ぐらいで、日本は遅れている。電力会社が送電線を使わせないのも一因。 産業振興;新しい投資が生まれる産業を作るべきではないか。 まとめ SDGsとは、2030年に向け国連が合意した「持続可能な開発目標」であるが、当市にとって、消滅可能性のある市町村にレッテルを張られた経緯があるので、持続可能な市政運営を図ることは必要不可欠である。SDGsの開発計画によれば、SDGs未来都市モデルでは政府の支援が受けられ、全国でSDGsの開発計画に投資をする企業が新たな市場を作っている。コロナ下の経済状況の中でさらに労働生産性の向上や環境負荷低減等を通じた効果が新たな市場を生んでいる。SDGsの未来都市を検証すべきではないかと思う。 		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	出席者負担金		25,000
	会費		
	旅費		5,480
	合計		30,480

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.2 嬉野市議会議員 芦塚 典子

開催月日	令和2年10月14日(水)		
開催時間	14:00~16:30		
開催場所	博多区博多駅東1丁目16-14		
主催者	地方議員研究会		
研修会等の名称	地方創生SDGs特別講座 SDGsカードゲーム		
講師等の氏名等	神戸情報大学院大学教授・大阪市特別顧問 山中俊之		
内容・結果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGsとは、Sustainable Development Goals 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」 ・「SDGs de 地方創生」とは、SDGsの考え方を地方の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について、参加者全員で対話し、考えるためのゲーム 政府の持続可能な開発目標(SDGs)推進本部が2018年末に発表した、SDGsアクションプラン2019の中でも、SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境にやさしい魅力的なまちづくりが明確に謳われました。 2018年に選ばれ、発表された29のSDGs未来都市はその象徴的な動きです。 ・SDGsの考え方を地方創生に活かしていくこととは。 ・世界全体のグローバルな問題と、国内の一地域の活性化の問題とどのようにかかっているのか。 ・日本の各地域が抱える課題も、世界が抱える課題と根本原因や構造が相似形である。 ・SDGsの考え方を理解することは地方創生に役立てることができる。 <p>○ カードゲーム2030SDGs と SDGs de 地方創生の違い</p> <p>マトメ SDGsカードゲームは、2030年の私たちの世界がどうなっているかをシュミレーションするゲームで、企業、自治体、学校、海外等、これまで15万人以上が参加していて2030SDGsを体験している。このゲームには、いわゆる行政、住民がそれぞれの立場で参加し、予算が与えられ、「人口」「経済」「環境」「暮らし」のバーチャルのなかで、何もしないで、楽をして行くと町が衰退していき、具体的に実践していくと、効果が生まれる。期待外れに終わるか、ネガティブに終わるか、町づくりや福祉や環境づくりなどに影響を与える。このゲームの効果は、町を良くしたいという気持ちを持ち続け、手段ばかりにとらわれず、「達成条件」のような目標を持つことが重要だと体験できる。未来まちづくりをシュミレーションし課題を見つけ、目標を設定したら、政策に遠望が見えるのではないかと考える。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	合計		No.1に記載

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。